様式4

「松伏町次期情報系サーバ構築保守業務委託」に係る質問回答書

No.	関連する資料	質問項目	質問内容	回答
1	仕様書P9	割り当てるCPUコア数、メモリ容量、ディスク容量その他のリソース量について	参考費用（クラウド利用料）のサイジングについて。 クラウドサービスはリソースの追加・変更が柔軟に行えるため、コスト最適化の観点から過剰な余剰リソースを見込まず、仕様書に記載された要件を満たす構成として算定したリソース量を前提とする認識でよろしいか。 また、本稼働後に実際の利用状況が想定を上回った場合のリソース追加については、その時点で協議の上、松伏町の負担により対応するものとの理解でよろしいか。	お見込みの通りです。
2	仕様書P2	構築・移行期間について	SE作業について、契約手続きを考慮した場合、最短で作業を開始することができる時期は。	契約締結時期は11月中旬を想定しておりますが、契約締結後に受託者からの提案により、直ちに作業を開始する必要があると協議が確定した場合、その時点から作業を開始することが可能です。クラウドサービス事業者等の第三者が関わる事項については、当該事業者間の協議が完了していることを前提とします。
3	仕様書P2	構築・移行期間について	仮に今年度内に設計及び構築の作業が発生しない見込みの場合、作業開始日を来年度4月1日にすることは可能か。	契約締結後、受託者から作業開始日を4月1日とする工程の提案を受け、協議して確定した場合には、可能です。